

# 令和2年 3月定例会

## 新型コロナウイルス対策と新年度予算を決定

### あらまし

令和2年3月定例会は、2月28日から3月25日まで27日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告4件、新型コロナウイルス対策を含む補正予算等の議案46件、議員提出議案2件等が提出され、請願1件と、報告等を除く一般議案は所管の常任委員会へ、令和元年度補正予算及び令和2年度予算は予算常任委員会へそれぞれ付託されました。事務分掌条例、市長と教育長の給与支給条例の一部改正は否決、令和元年度一般会計補正予算（第9号）は修正可決、そのほかの議案は原案のとおり可決しました。

### 事務分掌条例の一部を改正する条例

組織機構の見直し及び下水道事業等の地方公営企業法の全部適用に伴い、所要の改正をするものです。賛成少数で否決しました。

### 市長及び副市長と教育長の給与の減額

厳しい財政状況であることから、令和2年4月1日から1年間の給与月額を減額し、市長は78万3000円、副市長は69万8000円、教育長は63万1000円とするものです。両議案とも賛成少数で否決しました。

### 教育委員会委員の任命の同意

教育委員会委員の任期が令和2年5月19日に満了となるため、新たな委員として鳥山サカ江氏を任命するものです。全員一致で同意しました。

### 令和元年度補正予算

一般会計補正予算（第9号）については、新年度予算に計上すべきとし、学校施設の補修・改修費を削除し、歳入歳出それぞれ87万2000円を減額する修正案が議員から提出され、賛成多数で修正可決しました。続いて提出された一般会計補正予算（第10号）につ

いては、新型コロナウイルス対策に伴う小中学校の臨時休校のサポートなどのために、歳入歳出それぞれ1800万6000円を追加して、382億4323万8000円とするもので、原案のとおり可決しました。

### 令和2年度予算

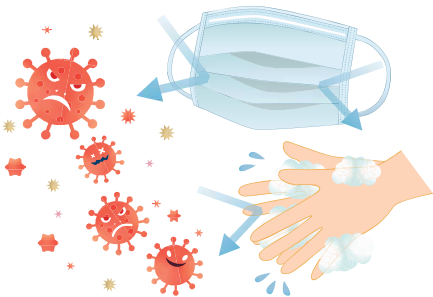
特別会計補正予算については、すべて全員一致で原案のとおり可決しました。

令和2年度一般会計予算は、358億8000万円

で、前年度から16億7300万円減額するもので、賛成多数で可決しました。

主な新規事業は、行政事務執行適正化推進事業18万7000円、バス交通デマ

ンド化検証事業303万1000円、高齢者等ごみ出し支援事業99万円、渋川ウォーキングチャレンジ事業1243万9000円、健康づくり支援事業2747万8000円、みんなの校



感染予防に努めましょう

庭芝生化事業3289万9000円、古巻公民館整備事業2907万3000円などとなっています。

特別会計予算については、すべて原案のとおり可決しました。

「本会議における渋川市長の答弁の真偽に関する調査特別委員会」の設置

渋川市長が硯石と社会福祉協議会人事に関する質問に対し、虚偽の答弁を行った疑いがあるため調査を行う「本会議における渋川市長の答弁の真偽に関する調査特別委員会」が設置されました。市議会として真相を解明するためです。

# 常任委員会の審査

## 総務市民

**職員定数条例の一部を改正する条例**

賛成多数で可決しました。

**質疑** 現在の職員総数は何人か。

**答弁** 正規職員数は、738人です。

**質疑** 正規職員を臨時職員に置き換えているのが実情ではないか。

**答弁** 臨時職員が増えているのは、学校の教員補助を手厚くするために増やしているためです。職員数の適正化のためには、民間に委託できるところはしていきたいと考えています。

**美しいまちづくり条例制定**

全会一致で可決しました。

**質疑** 環境美化活動をどのように行い、どこまで広げる考えか。

**答弁** 環境美化推進協議会

の変更について

鉄鋼スラグ対策工事の工事請負額が、スラグ碎石の処分数量が減少したため減額となるものです。2議案とも全会一致で可決しました。

**質疑** 撤去する鉄鋼スラグの処分費用は。

**答弁** 鉄鋼スラグ碎石の撤去処分費用については、運搬費用込みで1トン当たり約4万2000円程です。

**洪川市営住宅等条例の一部を改正する条例**

連帯保証人を廃止し、共益費を徴収するものです。全会一致で可決しました。  
**質疑** 家賃の徴収を確実に行う方策は。  
**答弁** 連帯保証人に代わる身元引受人を確認してま

## 経済建設

**市道金井大野線鉄鋼スラグ**

**対策工事請負契約の変更に**

**ついて**  
**洪川スカイランドパーク第1駐車場改修工事請負契約**

**経済建設常任委員会協議会**

・ 洪川市立地適正化計画(当初案)の概要について  
・ JR 洪川駅周辺地域再生構想(案)の中間報告について  
・ JR 八木原駅周辺整備に

ついて ほか3件

## 教育福祉

**教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例**

教育長の給料月額を減額するための条例で、賛成少数で否決しました。

教育長として、現行の規定された条例の金額で、しっかりと職務をしていただき、厳しい財政状況の中、どのように財政運営を行い、どのような事業を実施するのかということ、さらに努力してほしいという意見が出ました。

**学校施設緊急対策事業**

**質疑** 工期が令和3年2月だが、緊急性があるのか。補正ではなく新年度予算に計上すべき。  
**答弁** 体育館の雨漏り等で緊急を要すると考えます。

**ハイ王国公使別邸及びびがイダンス施設条例**

ガイドランス設備を導入し、来場者への案内を実施。全会一致で可決しました。

**質疑** すべての子どもから入館料を取るのか。

**答弁** 学校でまとまって来場する場合に減免します。

## 予算

一般会計補正予算(第9号)は、適正な予算執行の観点から、一部の事業については、緊急性がなく新年度予算に計上すべきとして、賛成多数で修正可決しました。また国民健康保険特別会計などその他の補正予算は、すべて全会一致で可決しました。

※OJT (オン・ザ・ジョブ・トレーニング)

実際の職務現場で、上司や先輩社員等が教える側となり、部下や新入社員に実践的に知識やノウハウを伝える方法

## 令和2年度 各会計予算

区分		予算額	
一般会計		358億8,000万円	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	89億9,095万円
		(診療施設勘定)	1億3,683万円
	後期高齢者医療	11億5,767万円	
	介護保険	90億9,905万円	
	農産物直売事業	316万円	
	伊香保温泉観光施設事業	2億7,597万円	
	小野上温泉事業	3,419万円	
	交流促進センター事業	1,480万円	
水道	収益的支出	18億3,988万円	
	資本的支出	11億8,896万円	
下水道	収益的支出	26億6,196万円	
	資本的支出	29億 751万円	

# 令和2年度予算案の審査

令和2年度渋川市一般会計予算、国民健康保険特別会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決しました。ほか8議案については全会一致で原案のとおり可決しました。

### 美術館建物賃借料

**質疑** 美術館の今後の方向性は。

**【答弁】** 現在の契約は令和2年9月30日で満了となりますが、今後まちなか美術館として継続していきたいと思えます。

### 移住支援金事業

**質疑** 渋川市に定住し、東京へ通勤も可能である。新幹線通勤の補助金等を交付する考えはあるのか。

**【答弁】** 渋川駅を利用したパークアンドライド等も検討していきたいと考えています。

### バス交通デマンド化検証事業

**質疑** デマンド化の方法は。  
**【答弁】** 北橘地区にバス停を設けて、予約による運行となります。料金は定額化を検討しています。

### 渋川ウォーキングチャレンジ事業

**質疑** どのように進めているのか。

**【答弁】** 歩くことを習慣化させ、活動量計の数値、検診の受診状況により健康ポイントを付与し、インセンティブとして金券等を配布する予定です。



ウォーキングで健康ポイント

### 高齢者移動支援事業

**質疑** あいのりを推奨するところがあるが、あいのりの相手などは、どのように決めるのか。

**【答弁】** 申請時に住所、行先を確認し、情報を共有できる方を紹介します。

**質疑** 一般券24枚、あいのり券24枚となっているが、全部を一般券として利用できないのか。

**【答弁】** あいのりを推奨するため24枚しか利用できません。

### 職員研修事業

**質疑** 令和元年度は、職員のコンプライアンス研修について、どのような内容で何回くらい行ったか。

**【答弁】** 2月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、順延となったため、学習会として各所属でOJTを実施しました。令和2年度は、行政事務適正化事業ということで、外部委員を招いた研修会を計画しています。

**質疑** 職員のスキルアップのため、引き続き県等に職員派遣をする考えは。

**【答弁】** 外部との交流は、得がたい経験になるので、できる限り行っていきたいと考えています。

### 外国人介護人材確保対策事業

**質疑** 補助対象の人数は。

**【答弁】** 24時間体制で稼働している施設を対象に、移動

### 【主な新規事業】

- (1) 行政事務執行適正化推進事業
- (2) 行政センターと公民館機能統合推進事業
- (3) 共生社会推進事業
- (4) コミュニティ広場等整備補助事業
- (5) バス交通デマンド化検証事業
- (6) 地域共生型地域包括ケアシステム構築事業
- (7) 外国人介護人材確保対策事業
- (8) 高齢者等ごみ出し支援事業
- (9) 動物愛護推進事業
- (10) 渋川ウォーキングチャレンジ事業
- (11) 新生児ウッドスタート事業
- (12) 新産業立地推進事業
- (13) 伊香保温泉レンタサイクル周遊促進事業
- (14) 観光周遊誘客支援事業
- (15) 緊急防災情報配信サービス事業
- (16) ふるさと渋川学生奨励金事業
- (17) みんなの校庭芝生化事業
- (18) 小学校スタディアシスタント事業
- (19) 学ぶ楽しさを味わうICT活用推進事業（中学校）
- (20) 古巻公民館整備事業

支援を20名、日本語能力検定を20名で予定しています。

体もありますが、今後調整していきます。

#### 高齢者等ごみ出し支援事業

**質疑** どのような形で支援するのか。

**答弁** 自力でごみ出しができない方について、玄関から集積所へのごみ出しと見守りなどを支援団体等にお願いします。

#### 動物愛護推進事業

**質疑** 猫の飼い主に対して去勢・不妊手術の助成をするものだが、件数と補助額は。

**答弁** 去勢50頭で上限3000円、不妊手術100頭で上限5000円としています。

**質疑** 各自治会や地域見守り隊との調整は。

**答弁** 既に実施している団

**質疑** もう少し助成金が上がらないか。

**答弁** 県内6市の状況を踏まえ同額としました。

#### 小学校スタディアシスタント事業

**質疑** どのような人材を配置するのか。

**答弁** 教員免許は不要で、子どもに寄り添える、思いやりのある人材を低学年から配置していきたいと思

ます。

#### 学校給食共同調理場（7大アレルギー対応）整備事業

**質疑** 令和2年2学期から稼働予定であるが、7大アレルギー対応できるのか。

**答弁** アレルギー対応は慎重に対応しなければいけないため、令和3年の2学期から実施の予定です。

**質疑** アレルギー調査は実施したのか。

**答弁** 既に実施済みです。

## 論

## 討

3月定例会で行われた主な討論について、概要を報告します。  
討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べたことを言います。

### 「渋川市事務分掌条例の一部を改正する条例」

## 賛成

市民要望など、新たな行政課題などに対して対応できる機構・組織とすることを基本方針として、6つの見直しを行うものである。

内容は、市長直轄組織の設置、総務部・総合政策部・市民部・スポーツ健康部・建設部の見直しと上下水道局の設置。特に上下水道局の設置は、令和2年度から下水道事業等の法律適用に伴う組織改編である。名称の変更等に伴い市民の戸惑いが起こらぬよう、案内等、対策をしっかりと講じること

## 反対

各部署の再編による名称と業務内容を変更する組織機構見直しを行うものである。毎年繰り返される変更により、職員の業務の定着度に支障を来し、また、市民の認識度に混乱を招き、行政の複雑化、サービスの低下を招く要因になりかねない。そして、市長部局の中に市長直轄組織を部等として規定していることについては、決裁権限を有する者が不明である。

執行機関の組織の原則からしても、役職の明確さに欠け、職場内の不信を招きかねないので、再度の検討、精査を求める。

## 歴史的価値のある硯石の掘り起こしに関する特別委員会

硯石の掘り起こしに関する許可手続き及び掘り起こしの経緯について市議会として調査が必要のため、令和元年9月定例会において、議員8人で構成する「歴史的価値のある硯石の掘り起こしに関する特別委員会」が設置されました。委員長に田邊寛治委員が選任され、16回にわたる審査、協議等の結果、令和2年2月20日、付託事件は全て議了しました。

市議は担当部署が分からなかったため、令和元年6月6日、議会事務局主任行政専門員（前水道部長）に依頼し、文化財保護課と資産経営課との調整の場を設けました。

7月16日、市議は資産経営課に「硯石」周辺の500㎡の土地について、駐車スペースとして草刈りと杭打ちを要請し、22日に市職員が作業を行いました。

7月29日に地鎮祭が行われ、市議自ら「硯石」の掘り起こしを行いました。

委員会では執行機関等の説明員8人、委員外議員2人、参考人1人の計11人から聞き取りを行いました。

「硯石」は、北橘町赤城山字赤城山24番地1の市有地にある市の普通財産です。

「硯石」掘り起こしの経緯  
現職市議が友人との話の中で、埋没しつつある「硯石」の掘り起こしを思い立ち、平成30年4月末頃、当時の水道部長にそのことを

思われます。

硯石を傷つけた件について

市議は、許可を得て掘り起こしをしたと説明していますが、資産経営課と作業工程などの打ち合わせはななく作業に着手しました。

「硯石」を大切に思い、有効活用する目的があったのだから、掘り起こしには細心の注意を払うべきでした。許可手続き及び行政事務について

市議からは、普通財産（硯石等）を借り受けたいとか、使用して収益を得ようとする意思が確認できないことから、普通財産の貸付には当たらないので、渋川市財務規則に規定された普通財産の貸付に関する諸手続きは必要なかったと判断されます。

ただし、市議と市は事業実施に当たって、より詳細な協議をする必要があったと考えられます。

なお、公職選挙法にかかるとしては、付託事件ではないので対象外としました。

## 議員全員協議会のあらまし

市内小中学校の休校について（令和2年2月28日）

新型コロナウイルスの感染予防のため、2月27日に国から各自治体へ出された休校の要請を受け、渋川市は2月27日同日中に3月2日からの休校措置を決定したことから、対応方針案と課題についての説明がなされました。また、午前中に行われた臨時校長会の内容も示されました。

臨時休校期間は3月2日から春休みまでの期間とし、期間中における学校給食の提供や通学バスの運行は中止、児童生徒は自宅での待機を基本とし不要不急の外出を避け感染症対策を各家庭において徹底する通知を配布する旨の内容です。

議員からはさまざまな質疑や意見が出されました。（以下一部抜粋）

①本日は金曜日である。他の自治体のように数日の猶予を取り、保護者が職

場と調整する時間を与えないのか。また、土日の学校対応は。

②首相の要請が報道され、学校関係者への相談がないまま即休校措置を決定した判断は拙速すぎではないか。

③学童への協力や新たな受け入れ体制の状況は。

### 第1回 臨時会のあらまし（3月30日開催）

事務分掌条例の一部改正

3月議会で提出された事務分掌条例の市長直轄組織を市長戦略部に変更し、危機管理監を現行どおりとし、危機管理室に、新型コロナウイルス感染症対策室を設置するものなどです。賛成多数で可決しました。

### 一般会計補正予算（第11号）

放課後児童クラブが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要とする物品の購入費用の補助等で、1474万3000円を追加するものです。全員一致で可決しました。